

医療安全教育セミナー(実践編)2020

-- 医療安全管理研修会 --

-- 進化する安全文化の構築 --

会期: 2020年9月17日(木)~9月19日(土)

会場: インターネットライブ講演会

(主催) 国際医療リスクマネジメント学会

(後援) 日本医療安全学会

(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療施設経営者、専任医療安全管理者、専任医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他

(趣旨) 医療安全に関する基本知識を習得します。なお、本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2018年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。

また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度の必須科目でもあります。

参加者には受講終了書を発行します。

3日間のコース授業です。3日間参加者のみ受講可能です。

本プログラムは「医療安全対策対策加算1」ならびに「医療安全対策対策加算2」における研修会に該当します。

2020年9月17日(木) 午前9時~午後5時

午前9時~午前9時50分	医療安全のモデリング	酒井亮二(学会理事長)
午前10時~午前10時50分	医療事故の調査方法と制度	秋野裕信(福井大学病院医療安全部長、教授)
午前11時~午前12時	医療安全におけるトップマネジメントの必要性	岡田有策(慶應義塾大学理工学部ヒューマンファクター研究室教授)
午後1時~午後1時30分	世界患者安全の日について	諸富伸夫(厚労省医政局総務課医療安全推進室室長)
午後1時35分~午後2時50分	医療安全文化の醸成	栗原慎太郎(長崎大学病院医療安全管理部部長、教授)
午後3時~午後3時50分	医療安全におけるチーム医療の円滑化の方法	辰元宗人(獨協医科大学病院 医療安全推進センター長、教授)
午後4時~午後5時	医療安全における地域連携のあり方	辰巳陽一(近畿大学付属病院医療安全管理部部長、教授)

2019年9月18日(金) 午前9時~午後5時

午前9時~午前9時50分	転倒転落の法的課題	井上清成(井上法律事務所所長、弁護士)
午前10時~午前10時50分	医薬品安全のためのチーム医療の上手な進め方	橋田亨(神戸市立医療センター中央市民病院・院長補佐兼薬剤部長)
午前11時~午前12時	脳神経外科における医療安全の取り組み方	森田明夫(日本医科大学研究科長、脳神経外科学、教授)
午後1時~午後1時50分	リスク分析とその可視化	酒井亮二(学会理事長)
午後2時~午後2時50分	医療安全のための患者とのリスクの対話方法	布施淳子(山形大学大看護学専攻基礎看護学講座教授)
午後3時~午後3時50分	医療安全のための患者相談の上手な進め方	西隈 菜穂子(近畿大学病院患者支援センター室長)
午後4時~午後5時	マニュアルの上手な周知方法	新村美佐香(横浜病院グループ医療安全推進部部長、菊名記念病院医療安全室室長)

2020年9月19日(土) 午前9時~午後4時

午前9時~午前9時50分	新型コロナウイルス感染下における医療安全研修会のあり方	佐和貞治(京都府立医科大学医療安全管理部部長教授)
午前10時~午前10時50分	医療安全管理体制の現状とスマート化	松村由美(京都大学付属院医療安全管理部部長、教授)
午前11時~午前12時	医療従事者の考える力の教育方法について	藤井千枝子(慶應義塾大学看護医療学部看護・医療統合分野教授)
午後1時~午後1時50分	医療事故時の職員のメンタルケア	近本 亮(熊本大学病院医療の質・安全管理部長、教授)
午後2時~午後2時50分	事故多発者の神経行動学的特徴	酒井亮二(学会理事長)
午後3時~午後4時	多職種によるCRM(処方見直し)チーム活動ならびに地域でのポリファーマシー対策	末松 文博(地域医療機能推進機構(JCHO)九州病院 薬剤部長)

参加申込締め切り: 2020年9月7日(月)

定数(なし)

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会

第1オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(電子メール) head.office02@iarmm.org

セミナーホームページ: <http://www.iarmm.org/J/PS2020sep/>